

「シャープさ」「鮮鋭度」に拘った納得の画質で、満足のいく胃部検診



主任 花房 和彦 先生

厳しい条件をクリアするコンパクトさ、画質、島津の信頼性が推薦ポイント

当診療所は北九州病院グループの健診施設として、予防と医療の一貫体制をとっています。また北九州で初めてレディース健診フロアを設けるなど快適で高精度な健診を提供しています。今回、装置の老朽化に伴い、フィルムレス化のため透視台3台と胸部撮影装置をデジタル装置に買い替えました。うち一台が島津のX線テレビ装置FLEXAVISIONです。検討時は、車載用間接装置を設置していた非常に狭い部屋への導入という点が心配されていましたが、コンパクト性、島津に対する信頼と画質の良さが、私が一番推した点でした。実際に導入し、装置の起倒は右側、部屋の扉は左側という動線的にも厳しい中、思いの外スムーズに検査できています。

受診者の待ち時間も減り、検査数も増加

デジタル化により受診者の待ち時間が随分と短縮されました。これはとても大きなメリットです。放射線科での受付作業もFLEXAVISIONの患者連携オプションにより大変楽になりました。操作コンソールに繋げた患者連携用PCで受診表のバーコードから患者情報を読み取り、PCからコンソールに送るだけです。以前は紙に受診者名を書き入れフィルムに写し込んでいたので、間違った場合は検査後に手で修正していました。また従来はフィルム装填・現像が非常に手間でしたが、今では検査前後の時間が全然違います。多い時にはFLEXAVISIONで約30人/日の胃透視検診をしています。年間の検査数も順調に増えています。



食道造影に威力を発揮する映像系スピードアップ機能

FLEXAVISIONは仕様を色々と選べるので当施設では胃部検診専用機とし400kHUのX管球を選択しました。また、オプションで映像系スピードアップ機能も導入し食道造影を行っています。他の装置ではバリウムの流れに追従できない場合が多々あるのに対し、FLEXAVISIONはすばやく追従できとても貴重しています。操作も大変シンプルで、分かりやすく使いやすい。レバーのタッチがソフトなのも好きです。また、デジタルへの移行時、胸部撮影装置が間に合わず1週間程リーダー台を持ち込み、オプションで搭載した管球首振り機能を使って胸部撮影をしました。管球焦点が小さめなので胸部でも使えると思います。今後もバックアップとして安心できます。



期待以上の画質に満足

以前島津の装置を使っていて画質を気に入っていましたが、そのイメージで「シャープさ」「鮮鋭度」に拘り導入後の画質調整をしてもらいましたが、想像以上の画質になりました。島津にはいい意味でのマニアがおり、お互い本音が言え、言った事に対し結果が返ってくる印象がありましたが、今回もそれ以上の対応にありがたく思っています。他メーカーの装置はまだ満足には至りませんが、FLEXAVISIONは、柔らかくありながらシャープさが残ったいい画像が撮れています。胃の撮影中はアナログと錯覚するような感じがします。スタッフ6名が撮影した画像もチェックしますが、画質に個人差もでにくいです。また、最近の検診では短い透視中に技師が病変を発見し、その部分を追加撮影するようになってきています。FLEXAVISIONは他の装置に比べ、透視像の出が速く、撮影との切り替えも速い。高画質のため、目で追い、目で探せるので、スタッフ全員とても満足しています。

導入をお考えの先生への一言

検診に関して言えば、コストパフォーマンスが飛びぬけているように思います。コンパクトさと操作性の良さも評価できます。用途に合わせてバリエーションを選べるというのが大きなメリットで、この装置の一番いいところだと思います。